

第9期宇治市生涯学習審議会 会議録

名 称	第9期宇治市生涯学習審議会 第10回審議会						
日 時	令和3年2月19日(金)午後2時~4時						
場 所	オンラインによる開催						
出席者	委 員	×	市橋 公也	○	佐藤 るり子	○	向山 ひろ子
		○	内田 徹	○	杉本 厚夫	○	森川 知史
		○	奥西 隆三	○	長積 仁	○	六嶋 由美子
		○	切明 友子	○	中本 裕也		
		○	桑原 千幸	○	西山 正一		
		○	小宮山 恭子	○	林 みその		
	事務局	○	伊賀 和彦(教育部長)				
		○	上道 貴志(教育部副部長)				
		○	林口 泰之(教育支援センター長)				
		○	福山 誠一(教育支援課長)				
		○	齊藤 政也(生涯学習課長(兼)生涯学習センター所長)				
		○	宮本 義典(生涯学習課副課長(兼)生涯学習センター主幹(兼)生涯学習係長)				
		×	高橋 紀子(生涯学習課事業係長(兼)生涯学習センター主査)				
		○	森川 円(生涯学習課生涯学習係主任)				
	○	木口 悠(生涯学習課生涯学習係主任)					
傍聴者	5名						

会議要旨は、下記のとおりである。

- 第9回審議会の会議録について  
修正がないことを確認し、ホームページで公開する。→委員了承
- 「令和3年度社会教育の重点(案)」新旧対照表について  
意見等がないか確認→意見等なし

### 1. 協議事項

#### ➤ 宇治市図書館事業計画の進行管理について

(事務局)

会議資料の宇治市図書館事業計画進捗状況一覧の内容を説明。宇治市図書館事業計画進捗状況一覧の4ページ 4誰もが利用しやすい図書館 (5)図書館利用の促進 の項目の実施した取組に図書館LINEの開設を加える。

(委員)

電子書籍の取り扱いについて教えていただきたい。図書館で電子書籍を取り扱う際の費用や貸出の方法等についてお伺いしたい。

(事務局)

電子図書館の予算がついたため、現在は電子図書館の導入に向けた取組を進めている。貸出の方法としては、貸出券のIDとパスワードを発行した後、電子図書館用のサイトにログインしていただき、サイト内で本の貸出を行い、各自の端末上で閲覧が可能となり、読み終わったらサイト内で返却できるシステムとなっている。

(委員)

宇治市図書館事業計画進捗状況一覧の4ページ 4誰もが利用しやすい図書館 (6)地域施設・団体との連携 において新しい取組をされているが、図書館サークルとの新しい取組にも力を入れていただきたい。また、子どもの読書活動推進について、文部科学省の図書館の実践事例集を参考にして、学校と図書館がさらに連携した取組を進めてほしい。

(事務局)

新しい団体との連携も進めながら、長年、図書館に関わっていただいている図書館サークルとの新しい取組も検討していきたいと考えている。

(事務局)

現在、子どもの読書活動推進計画の第三次推進計画を策定しているところだが、計画を策定しているメンバーには学校関係者も含まれている。これまでも、子どもの読書活動推進には学校関係者も一緒に取り組んでいたが、学校との連携が見えにくい部分もあったかもしれない。ご指摘いただいた内容を参考に、第三次推進計画の策定を進めていきたい。

(委員)

宇治市図書館事業計画進捗状況一覧の3ページ 2情報の拠点として地域を支える図書館(2)課題解決支援サービスの充実 庁内担当課と連携した取組とはどういった取組があるのか。

(事務局)

危機管理課とは防災に関する取組、障害福祉課とは、はじめての手話体験の取組、その他にも、源氏物語ミュージアムやごみ減量推進課といった課と連携した取組を進めている。今後も、庁内に向けて図書館の活動を広報しながら、連携できる取組を探していきたい。

(委員)

宇治市図書館事業計画進捗状況一覧の4ページ 4誰もが利用しやすい図書館 (4)多文

化対応サービスの充実 において、子ども向けのもが多く、外国語も英語が中心となっているが、仕事や生活に適應するための成人向けの取組もあるのか教えていただきたい。

(事務局)

宇治市の図書館で所蔵されている外国語の書籍は、ほとんどが絵本であり、成人向けの外国語の図書がないことが課題となっている。今後、電子図書館で成人向けの書籍を取り扱うとともに、英語以外の外国語の書籍の取り扱いについても進めていきたいと考えている。

(委員)

西宇治図書館での新規事業が見当たらなかったが、その理由について教えていただきたい。

(事務局)

中央図書館は、中央図書館として果たすべき役割もあることから他館より新規事業の数が増えている。今回は西宇治図書館としての新規事業はなかったが、東宇治図書館と同様に地域に密着した事業に取り組んでおり、引き続き成人向け講座や子ども向けのおはなし会等、新しい事業も含めて取り組んでいきたいと考えている。

(委員)

配本サービスについて、広報に力を入れると良いのではないか。

(事務局)

市内6か所に配本所を設けているが、今年の2月から市役所と配本所6か所に返却ポストを設置したので、その点も含めて広報していきたいと考えている。

#### ➤ 今期の審議事項について

(委員長)

今期の審議会ではコミュニティスクール(以下CSという)について審議してきた。これまで審議してきた内容を報告書(案)としてまとめたので、この報告書(案)の内容についてご意見をいただきたい。

はじめにでは、CSの意味と審議の経緯について委員長より説明したいと考えている。1.宇治市におけるCSの設置では、宇治市における教育課題とその対応について述べた後、CS設置の経緯、CSの構想について提案している。2.宇治スタイルのCSの組織運営では審議の中でみなさんから出た意見をカテゴリーに分けてまとめている。おわりには委員長職務代理が記述する予定である。

作成した報告書の活用について、事務局より説明をお願いしたい。

## 第9期宇治市生涯学習審議会 会議録

(事務局)

令和4年度に市内全小・中学校でCSが始まるため、審議会で作成していただいた報告書を参考にして各校でCSの準備を進めることになると考えており、報告書は各校に配布する予定である。

(委員長)

報告書は宇治市におけるCSのひとつの指針となる。今後のスケジュールとしては、本日いただいた意見をもとに委員長、委員長職務代理、事務局で修正し、次回の会議で再度提案し、最終的な報告として宇治市に提案したいと考えている。言葉の統一やフォーマットの修正は行う予定なので、本日は内容についてご意見をいただきたい。

(委員)

報告書12ページの【委員から出た意見】の③と⑥が同じ内容となっている。

(委員長)

内容が重複しているので修正する。

(委員)

CSの理念を明確に記載してほしい。

(委員長)

報告書7ページの空白に文部科学省が提示している理念を記載してはどうか。

(事務局)

そのように対応したい。

(委員)

報告書12ページの>学校教育への関わりについての記載について、冒頭に教職員の負担軽減の内容が記載されているが、教職員の負担軽減のためにCSを実施するような印象になるので表現を変えていただきたい。普段から学校に出入りしている地域の人なら教職員の負担について理解されていると思うが、学校の状況を知らない人が読むと誤解を招く可能性がある。

(委員長)

CSの取組を進めることで教職員の負担軽減にも繋がるという表現に変えたいと思う。

(委員)

社会の変化に応じて、CSを含めて学校のあり方も変えていく必要があると考えている。

その点について、報告書にも記載しておく方が良いと思う。

(委員長)

OECDは社会をつくる人材を育てようと提唱している。この内容について、はじめにで述べたいと思う。

(委員)

1.宇治市におけるCSの設置については、いきなり教育課題で始まっているが、先にCSの説明やCSの目的、期待される効果について記載されていると読みやすいと感じた。

(委員長)

教育課題に入る前のリード文にご指摘いただいた内容を盛り込みたいと思う。

(委員)

SDGsに関する内容も報告書に盛り込んだらどうだろうか。

(委員長)

はじめにか、おわりにの部分にSDGsの内容も盛り込みたいと思う。

(委員)

GIGAスクール構想やPDCAサイクルといった語句の説明を入れた方が市民には読みやすいのではないか。

(委員長)

脚注というかたちで記載したいと思う。

(委員)

報告書8ページに、CSの仕組みについてイメージ図を自転車で表現しているが、ハンドルを校長にすると学校の言いなりになっているような印象を受ける人もいるかもしれないので、違う表現ができないだろうか。

(委員長)

学校の責任者は校長なので、ハンドルとブレーキの役割を果たしてほしいという気持ちはある。

(委員)

CSを始めるうえで、頼りになるのは校長であり、校長の舵取りなしでは進まないことも承知している。ただ、言葉にしたときに、ハンドルが校長であることが適切なのか疑問に

思った。

(委員長)

前輪と後輪、ペダルなしでは前に進まないの、校長が暴走するようなことはないし、校長は方向性を決めるうえで重要な役割を果たすことを表していると解釈している。

(委員)

ハンドルはCSだと思った。また、前輪と後輪が活動と組織になっており、関係性についても疑問を感じた。自転車の図で何を表したいのか、もう一度整理する必要があると思う。加えて、宇治市としてのCSの理念も明記する必要があると感じた。地域でどのような子どもを育てるのか、どうやって地域で子どもを育てるのかといった未来志向的な内容も盛り込んだらどうだろうか。

(委員長)

宇治市としてCSをどう捉えているのかを強調するとともに、問題解決型ではなく未来志向型で報告書をまとめたいと思う。

(委員)

自転車を漕いでいる人は誰を表しているのか。

(事務局)

自転車を漕いでいる人物が学校であり校長の方が、誤解を与えないかと思う。自転車の図はCSの仕組みについて説明する際に、学校運営協議会と地域学校協働活動の関係を分かりやすく見せる図として頻繁に用いられている。

(委員)

文部科学省が提示する理念だけでCSが成り立つ訳ではないと考えている。理念というものは動かしながらかわっていくものだと思う。CSが自立していくためには理念を模索し続ける必要があり、その点について報告書に記載されていけば問題ないのではないかと考えた。

(委員長)

今後、理念を創り上げていくという点も含めて、理念の共有について記載が必要だと思う。

(委員)

校長とコーディネーターの二人が運転しているような図の方が分かりやすいのではないかと。この図では、上半身が校長で下半身がコーディネーターの様な印象を受ける。

(委員長)

自転車の図については、みなさんの意見を参考にしながら、事務局ともう一度検討したいと思う。

(委員)

市教委として、CSに関する広報の方法について検討していることがあれば教えていただきたい。

(事務局)

各小・中学校のホームページで、CSの詳細について更新していくことになると思う。その他の広報手段については今後検討していきたい。

(委員)

目指す子ども像は各校のCSで話し合っ、地域の人に共有されるということで良いか。目指す子ども像について、CSの場で話し合うのであれば、その点についても記載してはどうか。

(委員長)

目指す子ども像について議論することもCSの役割であり、理念を創り出していくこともまたCSの役割だと考えている。

(委員)

宇治スタイルのCSとは、宇治市における教育課題を解決することが宇治スタイルという考え方で良いか。

(委員長)

宇治の特徴に合わせたものと考えているが、宇治スタイルが鮮明になるようなかたちで加筆したいと思う。

(委員)

小学校から中学校に進む段階でのCSのあり方について教えていただきたい。

(事務局)

地域学校協働活動については、小学校と中学校で重なる部分はあると思うが、目指す子ども像については、各小・中学校のCSで熟議して決めるため、小学校と中学校の違いは出てくると思う。

(委員長)

また、気づいたことがあれば、事務局に連絡していただきたい。本日みなさんからいただいた意見を踏まえて、委員長、委員長職務代理、事務局で報告書の最終案を作成し、次回の会議で示したいと思う。

## 2. その他

特になし

- 最後に

(委員長職務代理)

本日は、オンラインでの開催であったが、活発な意見交換ができて、嬉しく思っている。3月の会議はどういった形での開催になるか分からないが、また元気で皆さんとお会いできることを楽しみにしている。

### <次回の会議について>

令和3年3月30日(火)午後2時00分から 生涯学習センターにて(予定)